



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2016年11月10日

報道関係各位

ジョージアサントスプレミアムによる北海道の水辺の環境保全事業「北海道 e-水プロジェクト」 第7回 北海道 e-水フォーラム開催 ～「ジョージアサントスプレミアム」北海道限定デザイン 寄付額累計 1億円突破記念～

北海道コカ・コーラ(本社：札幌市清田区 社長：佐々木康行)は、北海道、公益財団法人北海道環境財団と共に「ジョージアサントスプレミアム」北海道限定デザインの売上の一部寄付を財源として、北海道の水辺の環境保全に取り組む団体を応援する事業「北海道 e-水プロジェクト」を2010年より取り組んでおります。

2016年度の助成8団体の年間活動発表会である「第7回 北海道e-水フォーラム」を下記の通り開催いたしますのでご案内いたします。

なお、当フォーラムでは2016年度の寄付金贈呈式および感謝状授与式のほか、本年度採択された団体の年間活動報告、有識者による基調講演の実施を予定しております。

【第7回 北海道 e-水フォーラム 概要】

日時	2016年11月21日(月) 18:00～20:30
場所	札幌国際ビル8階 国際ホール 札幌市中央区北4条西4丁目1番地
申込み先	公益財団法人 北海道環境財団 電話：011-218-7811
定員	120名(参加費無料)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・活動団体発表(道内8団体) ※各団体の詳細については3ページ目に掲載 ・講演 中村 太士 氏 (北海道大学大学院農学研究院森林生態系管理学研究室 教授) 「水をめぐる生態系のつながり ～自然を生かした地域づくりの提案」

【ジョージアサントスプレミアム 寄付額累計 1億円突破】

- ・2007年に北海道と「環境保護活動の推進に関する協定」を締結、「ジョージアサントスプレミアム」による寄付事業開始。
- ・2010年からは、北海道、公益財団法人北海道環境財団、当社の3者協働となる「北海道e-水プロジェクト」へと発展させ、活動の更なる充実を図る。
- ・2016年度の今回寄付により、寄付額累計1億円(2億本)を突破。
- ・これまでご購入いただいた、のべ2億人の皆様の支えにより、「北海道e-水プロジェクト」は74団体の活動を支援、活動の輪は北海道一円に拡大。



当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、責任ある企業市民として、北海道の魅力をさらに高める活動を継続的に実行してまいります。これからも、次世代を担う子どもたちに、将来の地球の姿を考える場を提供することや安全で安心な地域づくりを応援する取り組みを、地元企業として、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部 担当：小野

Tel : 011-888-2091

■ 参考1 活動の源である「ジョージアサントスプレミアム北海道限定デザイン」

- 「ジョージア サントスプレミアム北海道限定デザイン」は1993年に発売して以来20年以上、北海道の多くのお客様に親しまれているコーヒーのロングセラー商品です。原材料には、北海道産の乳・砂糖を使用し、北海道の地産地消を応援しております。
- パッケージデザインは、北海道の代表的な自然風景を採用し、ご愛飲いただいている皆様から北海道の環境を守ることへの気持ちをお預かりするというかたちで、売上の一部を公益財団法人北海道環境財団へ寄付し、それを活用して北海道との連携のもと道内各地域の水辺の環境保全に取り組む団体と協働し、水辺の観察会や清掃活動などに取り組んでいます。

※4種類のパッケージデザイン（左から 大沼、釧路湿原、大雪山、十勝平野）

※容量は170g缶、185g缶、280mlPETの3種類があります。



■ 参考2 北海道e-水（イーミズ）プロジェクトとは

- 北海道には豊かな水資源とそれを取り巻く美しい自然があります。この北海道の恵まれた水とそれを含み自然環境を道民全体で保全し、未来に引き継いでいくため、道民、事業者、行政の協働のもとで地域における水辺の環境保全活動に取り組む事業が「北海道e-水プロジェクト」です。
- エコロジーをイメージする「e」と「きれいな水」というイメージを重ね合わせ、「北海道e-水（イーミズ）プロジェクト」と名付けました。
- 2010年から始まったこの「北海道e-水プロジェクト」はこれまで7年間で延べ74の団体を支援、活動の輪は全道一円に拡大。

■ 参考3 寄附金額の推移

2008～2015年 寄附額実績	92,894,238円	
2016年 今回寄附額	8,809,728円	
寄附額累計	101,703,966円	内) e-水プロジェクト 77,325,771円

■ 参考4 2016年度 北海道e-水プロジェクト 助成団体（敬称略）
2016年助成団体

クッチャロ湖等保全対策協議会

浜頓別町の開村100周年を記念し、全国の湿地で活動している子どもたちを招き環境教育を通じて交流し、クッチャロ湖の水環境の保全を再確認



夕張川自然再生協議会

流域自治体市連携シンポジウムの開催、サケマス自然復帰事業、歴史的な産業・文化遺産調査、資料蓄積事業、湿地再生事業、雨煙別川の調査活動、魚道設置、産卵床づくり、小中学生を対象とした体験活動の実施



後志地域生物多様性協議会

ウチダザリガニ防除事業について現地見学会開催、環境DNAを用いた水生生物の分布調査に関する啓発パンフレットの作成、勉強会の開催、サンプリング・DNA解析の実施



丸瀬布昆虫同好会

武利川の成り立ちについての勉強会、水生昆虫調査、ウチダザリガニの調査、駆除活動、町民・キャンパーへの周知活動、学校教育への活動成果還元など



網走川流域の会

・流域社会の役割、重要性、普及啓発のためのシンポジウム開催
・子ども含む地域住民を対象とした網走川流域学習事業（上流：森の役割、中流：農林業、生物、下流：網走湖と漁業）
・流域一斉清掃



NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト

琵琶瀬川河口域でのアマモ場の調査、これまでの調査結果を発表するとともに、生態系サービスや環境経済学などの専門家を招いたフォーラムの開催



NPO法人日本野鳥の会十勝支部

湿地の再樹林化を防ぐため、ヤナギ幼木や外来種防除イベントを開催し、同時に河川清掃を行う。十勝の湿地の生き物を紹介する冊子を作成。十勝環境交流会に出展



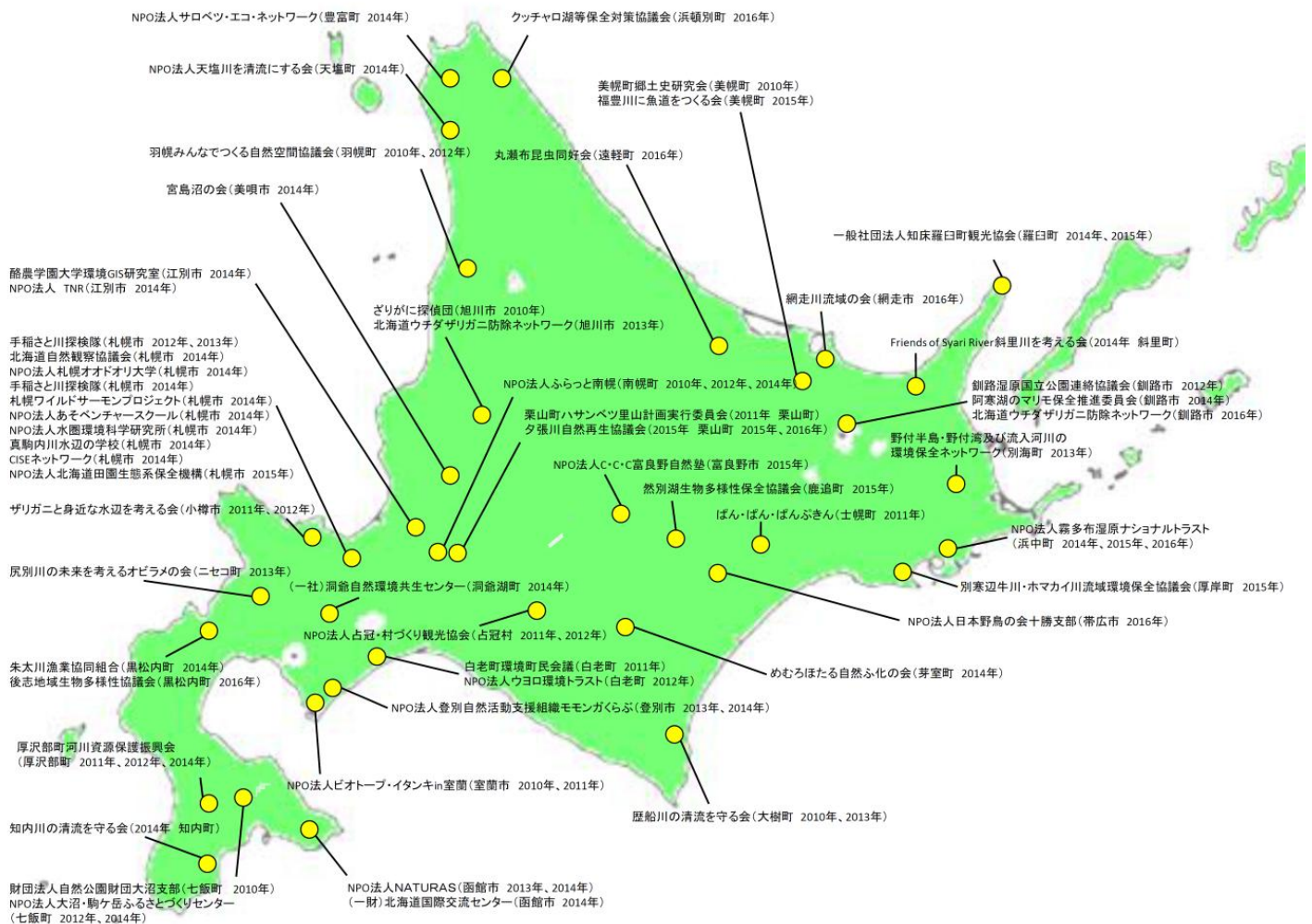
北海道ウチダザリガニ防除ネットワーク

防除体験イベントの実施、ほかイベントの支援、活動団体の交流防除、啓発用クリアファイルの改訂増刷、外来ザリガニサミット開催、通信紙の発行



- ・対象となる団体：道内の水辺における環境保全事業を行う非営利の団体または流域ネットワーク
- ・対象となる事業：道内の水辺（川、海、湖沼など）において環境保全活動を行う非営利の団体（または流域ネットワーク）が行う事業。

【北海道e-水プロジェクト歴代活動団体一覧】



【北海道e-水プロジェクト活動風景】



e-水フォーラム(2015年)



キックオフミーティング(2016年)



採択団体活動風景(2015年)



北海道e-水プロジェクト

ロゴマーク



「ジョージアサントスプレミアム」北海道限定デザイン
(左から大沼・釧路湿原・大雪山・十勝平野)